

ロハスパッカーズ通信

定期報告 10 月 2 回目ーグアテマラの秘境、清流セムクチャンペイー

文責：有村拓朗



世界には僕が想像もつかないような美しい自然が山ほどあるに違いないが、このセムクチャンペイはグアテマラが誇るべき、自然がくれた宝石だ。セムクチャンペイとはケクチ語で「土地の下に隠されている川があるところ」という意味があります。ランキン森の血流のごとく、脈々と流れるカホボン川が、長い年月をかけ石灰岩を侵食しこのような地形を作り出したとのこと。ここを訪れた人であれば、誰でも高台まで登ればこの美しい宝石を眺めることができます。眺めるだけの宝石はなんとなくもの足りないですが、ここの宝石はその中に入っていくことを許してくれるので、よりこの場所を味わうことができます。



ザブンと二人で水の中に入る。透き通る水の中に入るだけで全身で水の冷たさを感じ、そのまま水の上に仰向けになる。するとモクモクとした雲の白に青空、その視界の両端には美しい緑が目に入ってくる。それを楽しんだ後は目を閉じてみる。すると自然の水棚になっているこの川からさらさらとした淀みのない音がきこえてくる。森の浄化機能を果たしているこの場所の空気は当然おいしく、五感全部を感じながら思いっきり体を開放することができます。



久しく自然を見ていなかった僕たちは、この秘境を訪れたことによって、旅の英気を養うことができました。残念なのはこの美しい場所があまり日本人に知られていないこと。2005年版からの地球の歩き方に掲載されなくなってしまっていますが、グアテマラを訪れる人は外すことのできないスポットではないでしょうか。是非ともグアテマラを訪れた際には足を運んで頂きたい場所です。

(現地の動画も作成しましたので併せてご覧ください。)

URL: <http://www.youtube.com/watch?v=4U25UDX6QVE> <http://www.youtube.com/watch?v=94Z9SH8D0dc>